

基本構想素案

修正箇所

基本目標 3 だれもが支え合い生き生きと過ごせるまち

新型コロナウイルスのパンデミックは、ひとつのボトルネックが連携するすべての体制を崩壊させるリスクを浮き彫りにしました。受益者の視点に立った《保健・医療・福祉》の連携を進めつつ必要な資源を確保する、いのちを守る構えと備えのあるまちを目指します。

保育や教育など次世代を育む体制についても、人口などの将来展望に立って良好なサービス水準が維持され、世代や境遇による格差が生じないまちを目指します。

また、健康づくりのための意識づくり・環境づくりが進み、いつまでも生きがいを持ってはつらつと暮らすために誰もが協力しあえるまちを目指します。

【まちの具体像】

●医療・介護・生活支援のネットワークを、多くの事業者や有資格者が支えています。

●見守り合い、支え合い、助け合いながらはつらつと過ごす人が増えています。

◇高齢者や障がいのある人が自立した生活をおくれるようになっています。

●自分と他人の権利について正しい知識を持ち、お互いを尊重する意識が広まっています。

◇子どもが安心して遊べる場所と、見守る目が増えています。

~~◇きめ細かく利用しやすい保育サービスのメニューが増えています。~~

保育を必要とする世帯が、希望する保育サービスを利用できるようになっています。

【実現に向けた取り組みの方向】

地域福祉に関すること

31 地域の保健・医療・福祉の推進

32 高齢者福祉の充実

33 障がい者の自立支援

34 人権擁護の推進

次世代育成に関すること

35 子育て支援の充実

36 児童育成と健康の維持

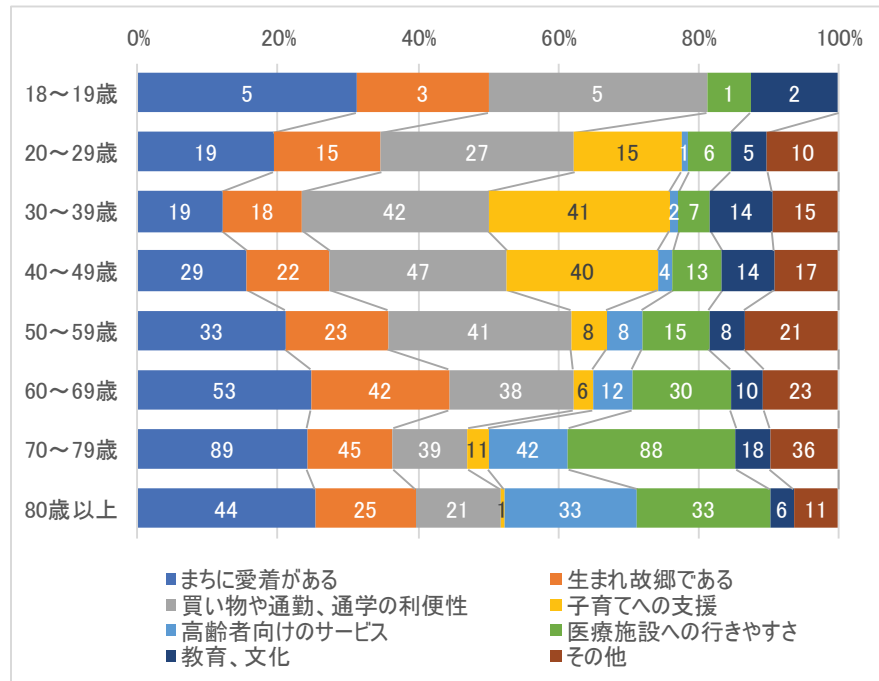
第2期早島町
人口ビジョン素案
修正箇所

青字：追加

1 なお、令和2(2020)年3月に実施した町民アンケート調査において、「今後も早島町
2 に住み続けたいと思う」と回答した人は93%でした。

3 住み続けたい理由を年齢別に見ると、20～40歳代で「子育てへの支援」が増え、60歳
4 以上で「高齢者向けのサービス」「医療施設への行きやすさ」が増えています。また、
5 「まちに愛着がある」「生まれ故郷である」「買い物や通勤、通学の利便性」の3つの合
6 計をみると、どの年代も半数以上が住み続けたい理由として回答していました。

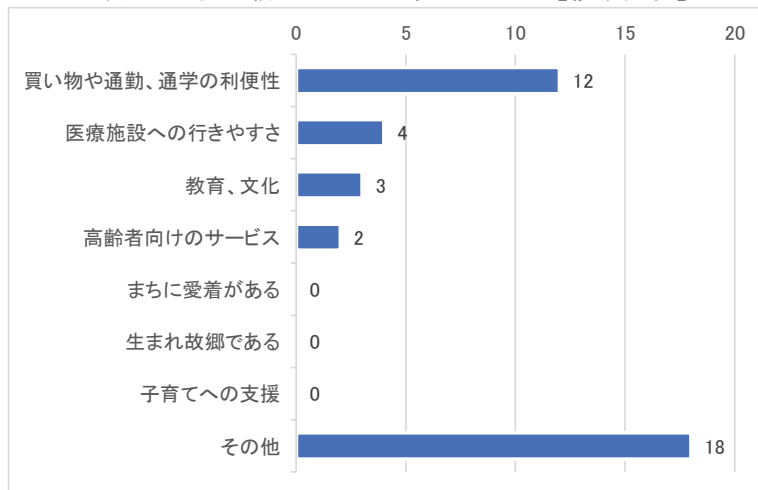
7 **図表 18 回答者の年齢別にみた住み続けたいと思う理由【複数回答】**



資料：早島町調べ

10 住み続けようと思わない人の中では、理由として「買い物や通勤、通学の利便性」を上
11 げる人が最も多くなっています。

12 **図表 19 住み続けたいと思わない理由【複数回答】**



資料：早島町調べ

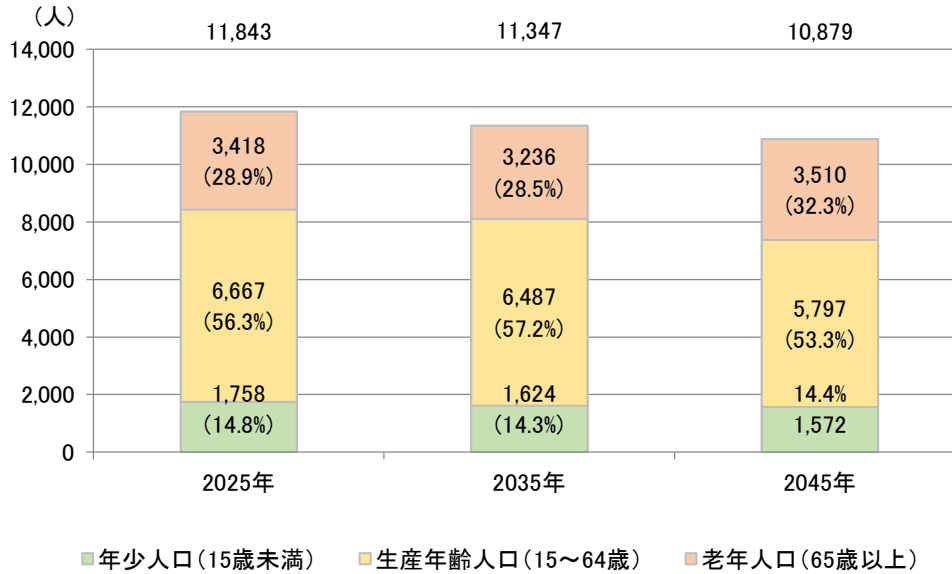
1 (2) 将来の人口構成の変動

2 早島町においても総人口が減少する局面を迎えるだけでなく、長期的に安定した人口を
3 確保し続けることが困難な人口構成への変化も発生します。

4 社人研推計によると、昭和46～~~49~~49(1971～1974)年に生まれた第2次ベビーブーム世代が
5 65歳以上となる2040年ごろには老年人口割合が30パーセントを超え、2045年にはおおむね3
6 人に1人が高齢者となる見込みです。

7 また、年少人口は継続して減少し、人口の再生産ができなくなる見通しです。

8 図表24 早島町の人口構成の見通し



10 資料：社人研『日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）』

Ⅲ 目指すべき将来の方向

1 基本的な考え方

政令市の岡山市と中核市の倉敷市に隣接する早島町においては、人口の減少は自治体としての存立に致命的な影響を与えます。人口の規模もさることながら、多くの人が行き交う隣接市に対しても転出超過に陥らない関係を維持し続けなければ、将来にわたり持続可能なまちであり続けることはできません。

また、岡山市・倉敷市との一体的な発展なくして早島町に未来はありません。両市が東京圏や他のエリアからの転入を促進していくためには、早島町を含めたエリアが居住好適地としての一体性を高めていく、すなわち安全性や都市基盤の整備、交通利便性などの水準が「遠くから見ると一体に見える」まちであることが必要です。

同時に、それら両市の狭間で居住地として選ばれるまちであるためには、教育や子育て、高齢者福祉などの差別化により「近寄ると際だって見える」まちであることが必要です。

2 持続可能な早島町を実現する三つの視点

(1) 高い出生率を活かし、いち早く人口の安定を図る。

早島町における出生率は県内でも相対的に高い数値ですが、人口の減少局面が本格化する前に安定的な人口のベースを確保するための対策を講じること、特に生産年齢人口割合の低下を食い止めることが重要です。

(2) 働く人に選ばれる住生活の環境・基盤を早急に整える。

早島町の人口動態は社会移動に大きく依存しています。岡山市・倉敷市と一体的でありながら住まう場所として早島が選ばれるために、住まう場所としての魅力を維持し、より高めていくことが重要です。

(3) 子育てを支える、子育てと両立する仕事を創出する。

早島町の持続可能性を支える主役は子育て世帯であり、その多くは岡山市・倉敷市へ通勤する共働き世帯になると考えられます。働く子育て世帯が十分な支援を得られるだけでなく、仕事と子育てを両立優先しながら柔軟に働き続けられる環境をつくっていくことが重要です。

3 町の施策との整合

第5次早島町総合計画では、早島町人口ビジョンが示す人口見通しを将来像の基本として取り扱うとともに、総合戦略の改定をあわせて実施することで、定住促進施策の着実な推進を図ります。

第2期早島町

まち・ひと・しごと総合戦略素案

修正箇所

2 重点化の方針

将来人口フレームの設定では、前提条件として「出生率のさらなる改善」と「転入人口の増加」を想定しています。早島町総合戦略における施策の選定においては、より具体的な目標の設定と個々の施策・事業への展開を図っていくため、以下の《育・職・住》を念頭に置きながら重点化を図っていきます。

- ①高い出生率を活かし、いち早く人口の安定を図る。
- ②子育てを支える、子育てと両立する仕事を創出する。
- ③働く人に選ばれる住生活の環境・基盤を早急に整える。

(1) 出産・育児の一貫した支援

共働きの若年夫婦も安心して2人目・3人目を出産できるよう、出産・子育てに関する公的な支援を拡充します。

また、子育て世帯への地域における相互支援を促進します。

(2) 生活に必要なサービスの供給促進と雇用の創出

地域において、働く人を支える新たなサービスを創出する事業者を支援します。

また、ワーク・ライフ・バランスが大きく変動する出産前後においても~~自宅近くで~~就業を継続できるような企業の職場環境づくりを促し、仕事と子育ての両立の支援に努めます。~~地域における柔軟な雇用形態の普及に努めます。~~

(3) 移住人口の受け皿となる住宅地の形成と良好な住環境の維持

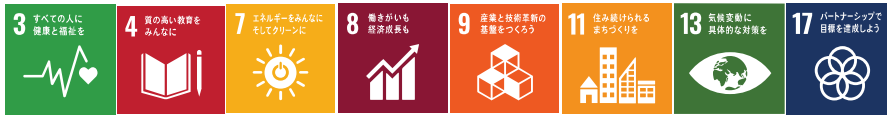
岡山市・倉敷市で働く世帯が早島町を新たに住まう場所として選べるよう、魅力的な宅地の供給を図ります。

また、いつまでも町内で住み続けられるよう、既存住宅地における良好な住環境の維持・形成に努めます。

図表 17 総合戦略による施策展開のイメージ

基本目標	主要な取り組みの方向	重点的に事業への展開を図る施策
1：住んでみたい、 住み続けたいまち 	11適正な土地利用の展開	新たな定住空間の形成 空き家の利活用と管理 関係人口の創出と移住定住の促進 等
	12良好な定住環境の形成	良質な居住環境の保全 等
	13総合的な交通体系の形成	公共交通機関の利便性の向上 等
	<u>14文化・芸術の振興</u>	文化・芸術活動の振興 等
	<u>15地域資源の保全・活用</u>	地域資源を学ぶ環境の充実 等
2：家族の輪が広がる まち 	21子育て支援の充実	子育てを支える体制の拡充 地域の子育て支援の推進と体制整備 子育てのための経済的支援 等
	22児童育成と健康の維持	母子の健康づくりの推進 等
	23学校教育の体制強化	一貫教育の推進 教育環境の充実 等
	24まちづくりの担い手の育成	生活を支える地域活動の充実 青少年の健全育成 等
3：働き続けられる まち 	<u>31子育て支援の充実</u>	<u>子育てを支える体制の拡充</u> <u>地域の子育て支援の推進と体制整備 等</u>
	32雇用環境の向上	ワーク・ライフ・バランスの推進 若者等の雇用の確保 創業の推進 等
	32飲食・小売業の活性化	小売商業の振興 歩いて暮らせる魅力ある商店街の形成 企業誘致の推進と町内雇用の確保 等
4：安心して暮らせる まち 	41地域の保健・医療・福祉の推進	高齢者が活躍できる環境づくり 高齢者の地域生活支援の推進 等
	42高齢者福祉の充実	地域福祉の連携強化 データヘルスの推進 等
	<u>43災害の備えの充実</u>	浸水 <u>被害防止</u> 対策の推進
	44良好な定住環境の形成	日常生活に必要な施設へのアクセス向上 生活環境の保全 等
	45社会教育の環境整備	学校教育ビジョンとの連携 生涯学習のまちづくりの推進 等
(参考)総合計画基本計画に位置づけられたその他の施策・事業	上記に含まれない施策・事業についても、総合計画の進行管理のもと、効率性の原則に基づいて積極的に連携を検討し、より幅広い成果を発揮できるよう取り組みます。	

1 基本目標 1：住んでみたい、住み続けたいまち



2

3

(1) 目標の全体像

<p>目指す状態</p>	<p>○町外からの転入やUターン、世帯分離などの場面で、それぞれの生活スタイルにあわせて新たな住まいを確保できるまちを目指します。</p> <p>○暮らしにうるおいを与える豊かな水と緑が、地球環境を保全し災害時の重要性についても日々気づきを与えてくれるまちを目指します。</p> <p>○駅に近い便利な暮らしを満喫することも、閑静な住宅地から週末ごとに車で出かけることもできる、住環境の豊かなまちを目指します。</p> <p>○はじめて訪れる人にもわかりやすく、高齢者が安全に歩けるまちを目指します。</p>	<p>目標 4 へ</p>
<p>達成にかかる指標と目標値</p>	<p>○25～40歳の社会移動数が計画期間の各年において前年以上を維持（令和2年度 19人）</p>	
<p>主要なターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町外に居住する新婚・子育て世帯 ・町外に居住し持ち家を取得しようとしている人 	
<p>主要な取り組みの方向</p>	<p>11 適正な土地利用の展開 駅に隣接又は近接した地区における計画的な宅地形成と都市機能の誘導</p> <p>12 良好な定住環境の形成 <u>移住・定住の促進と関係人口の創出</u> 快適な居住環境の形成に向けた計画的なまちづくりと良好な住宅ストックの形成</p> <p>13 総合的な交通体系の形成 生活空間へ流入する通過車両の抑制、交通安全施設の適切な維持管理、各機関が連携した交通危険箇所の把握 公共交通のターミナル機能とネットワーク性の向上</p> <p>14 <u>文化・芸術の振興</u> <u>ゆるびの舎文化ホールでの文化芸術活動の展開</u></p> <p>15 <u>地域資源の保全・活用</u> <u>地域資源について学ぶ機会の増大</u> <u>同じ歴史や文化を共有する地域との連携、情報発信</u></p> <p>13 災害の備えの充実 「減災」の考え方を取り入れた防災体制、平時における災害への意識と備え、有事における情報の正確・迅速な周知の仕組みづくり</p>	<p>目標3から</p> <p>目標3から</p> <p>目標 4 へ</p>
<p>関連するキーワード</p>	<p>関係人口、住環境、宅地、空き家活用、公園、交通利便性、交通安全、<u>情報発信</u>、<u>地域資源</u>、防災</p>	

1 (2) 重点的に事業への展開を図る施策

2 ① 新たな定住空間の形成（総合計画 前期基本計画施策141）

3 駅の拠点性を高め、駅に隣接又は近接した地区の市街地編入を行い、良好な住宅地の誘
4 導を図ります。

5 ② 計画的な土地利用の推進（総合計画 前期基本計画施策212） 早島駅に隣接または近接

6 した地区において地区計画の手法を用いた計画的な土地利用の誘導を行い、将来的な市
7 街化編入を目指します。

8 ③ 空き家の利活用と管理（総合計画 前期基本計画施策214）

9 空き家情報バンク制度の周知等により空き家の利活用を促進すると共に、改修や家財整
10 理への支援を行います。また、移住を希望する若者などに対して空き家情報を提供します。
11 倒壊の危険がある特定空家等の解体・撤去に一部工事費を補助します。空家等の実態を定
12 期的に調査し、所有者または管理者に対して適正管理の責務に関する情報提供を行います。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	市街化区域における人口密度の割合 (%)	(R2) 77.5	(R8) 81.2
	空き家バンクへの物件登録数(件)	(R2) 0	(R8) 4
	特定空家の件数(件)	(R2) 10	(R8) 10
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★早島駅周辺拠点整備事業 ★空き家等利活用助成事業 ★空き家等実態調査事業 等		

13
14 ④ 関係人口の創出と移住定住の促進（総合計画 前期基本計画施策213）

15 ふるさと納税等を活用し、関係人口の創出を図ります。また、移住を検討する人に向け
16 て、立地の優位性からテレワーク等多様な働き方に対応できる早島町での暮らしの魅力を
17 多様な情報媒体を活用して発信します。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	ふるさと納税寄付件数(件)	(R2) 568	(R8) 1,500
	町ホームページの定住・移住関係 ページの閲覧数(件)	(R2) 3,230	(R8) 3,700
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★ふるさと納税制度推進事業 移住定住促進事業 等		

18
19 ⑤ 良質な居住環境の保全（総合計画 前期基本計画施策211） 土地利用の規制・誘導による

20 まちづくりと連動し、風景と調和する町並みの形成に向けた住民主体のルールづくりを
21 支援します。場所ごとの景観特性に応じた多様な景観配慮を引き出し、景観保全への住

1 民意識の醸成を図ります。

2 **⑥ 低炭素社会の推進（総合計画 前期基本計画施策252）**

3 再生可能エネルギーへの転換や省エネルギー化を引き続き促進し、町全体から排出される温室効果ガスの減少に取り組みます。また、スマートエネルギー導入への助成など、環境に配慮した住宅の普及を推進します。

進捗にかかる指標（KPI）と目標値	町民1人あたり温室効果ガスの排出量（kg）	今後調査	(R8) ※
具体的な事業（★…R3年度主要事業）	★地球温暖化対策事業 ★スマートエネルギー導入促進事業 等		

6 ※令和3年度策定予定の「早島町再生可能エネルギー最大限導入計画」を基に目標値を設定

7 **⑦ 都市公園の利用増進（総合計画 前期基本計画施策151）** 都市公園については、子どもから高齢者まで地域住民の幅広い意見を踏まえ、目的や機能を特化・充実させることにより「四季を通じて楽しめる憩いの場」、「町民共有の地域活動の場」となるよう利用の促進を図ります。

8
9
10

11 また、緊急時の避難場所として利用できるよう、求められる機能の整備を図ります。

12 **⑧ 体系的な道路の整備と維持管理（総合計画 前期基本計画施策111）**

13 都市計画道路早島大砂線、駅前バイパス線の整備とあわせた、幹線町道の整備とインターチェンジ周辺の物流施設の集約に伴う計画的な道路網の確保に努めます。

15 国が直轄事業で進める国道2号の交差点立体化については、県道交差点での南北移動の円滑化と物流の効率化に向け、国・県・倉敷市と連携し早期の事業実施に努めます。

17 また、歩行者・自転車が安全に通行できるよう生活道路の維持管理に努めます。

18 **⑨ 公共交通機関の利便性の向上（総合計画 前期基本計画施策114）**

19 公共交通機関を利用した町外主要地域との移動円滑化について、ニーズの変化を踏まえつつ将来的なあり方を検討します。

21 また、早島駅のバリアフリー化に向けた協議を進めると共に、駐車場・駐輪場の確保など駅周辺の交通利便性の向上に努めます。駅と観光センターとの連携を図り、コミュニティバスを活かした買い物支援など、交通と生活利便性が直結した拠点整備を検討します。

24 **⑩ 情報公開の推進（総合計画 前期基本計画施策522）**

意見に基づき修正・追加

25 審議会などの開催をウェブサイトで周知し、開かれた町政を推進します。

26 広報誌への掲載や開示請求の手法により情報を公開し、町民との行政情報の共有を図ります。

27 また、広報紙を通じて岡山市や倉敷市などの他市町の情報を発信します。

28 **⑪ 広域連携の推進（総合計画 前期基本計画施策553）**

意見に基づき修正・追加

29 岡山市を中心とした連携中枢都市圏、倉敷市を中心とした高梁川流域連携中枢都市圏等の

30 他市町村との連携を引き続き推進し、住民の生活圏等を基礎とした近隣の連携中枢都市圏

31 との圏域間連携に取り組み、広域連携による効果的・効率的な行政運営を図ります。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	人身交通事故の1万人当たり件数(件)	(R1) 52	(R8) 42
	早島駅の平均乗降客数(人/日)	(R2) 1,882	(R8) 2,500
	コミュニティバス年間延利用者数 (人)	(R2) 47,755	(R8) 50,000
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★道路新設改良事業 ★道路施設点検及び維持修繕事業 ★コミュニティバス運行事業 連携中枢都市圏事業 等		

1

2 **⑫ 文化・芸術活動の振興（総合計画 前期基本計画施策431）**

目標3から

3 町民活躍の場、隣接地域の交流の場としての視点を取り入れ、民間の力とアイデアを取り入
4 れた「まちあるきシネマ」のような新たな事業を誘致したり、ピアノリレー・コンサ
5 ート等芸術文化イベントに住民参加型の企画・運営を導入したりすることで優れた文化・
6 芸術に触れる機会を提供すると共に、県内の若手芸術家の育成など独自の事業等を行う
7 ことで、町民や近隣の団体等と共にゆるびの舎の独自の魅力を発信していきます。

8 **⑬ 地域資源を学ぶ環境の充実（総合計画 前期基本計画施策441）**

目標3から

9 《はやしま学》の中で町の歴史や自然などを学ぶロゲイニングや自然観察会等を開催す
10 ると共に、町の歴史を学ぶ副読本を中学生に配付し、郷土への愛着を深め、地域への誇り
11 を育てます。

12 戸川家記念館の新規展示コーナーや案内板や解説板などを整備するなど、学ぶ環境を整
13 えると共に、ホームページなどを通じ、町の魅力を発信します。同時に、高梁川流域や同
14 じ歴史を共有する岡山市西部地域と連携し、地域の魅力を発信します。

15 また、地域資源を線で結ぶ「不老のみち」の積極的活用を図ります。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	地域でのはやしま学推進事業への参 加者数(人)	(R2) 7,143	(R8) 8,000
	公民館・図書館講座参加者(人)	(R2) 923	(R8) 1,200
	戸川家資料館の来館者数(人)	(R2) 384	(R8) 1,000
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★はやしま学推進事業 ★図書館運営事業 ★歴史的遺産保護管理事業 ★町民総合会館運営事業 等		

16

17 ~~⑭ 住宅等耐震化の推進（総合計画 前期基本計画施策126）~~

目標4へ

18 ~~耐震診断及び本造住宅の耐震改修にともなう所有者等の負担の軽減を図れるよう、耐震~~
19 ~~費用の一部を補助します。~~

~~㊸ 上下水道区域の見直し（総合計画 前期基本計画施策132）~~

目標 4へ

~~老朽化等により課題のある上水道施設を廃止し、配水区域を変更することで集中的な対策を進めます。また、下水道事業については、現在2系統ある汚水処理施設への放流先を集約することで効率的な事業運営を行っていきます。~~

~~㊹ 浸水被害防止対策の推進（総合計画 前期基本計画施策133）~~

目標 4へ

~~大雨による浸水対策として、弁才天排水機場や汐入川排水機場の長寿命化をはじめとする事業計画の策定や、児島湖周辺自治体との緊密な連携を進めます。また、水路の改修や浚渫により保水機能を向上すると共に、定期的な維持管理に取り組みます。~~

~~集中豪雨時に浸水が想定される区域の内水ハザードマップを作成し、浸水する深さや避難方法などの情報を住民に提供するなど、内水はん濫による浸水被害を最小限にとどめるよう努めます。~~

進捗にかかる指標 （KPI）と目標値	町民1人あたり温室効果ガスの排出量 (kg)	今後調査	(R8) ※
	住宅の耐震化率(%)	(R2) 90.7	(R8) 95
	上水道管路の耐震化率(%)	(R2) 34.5	(R8) 43.5
具体的な事業 （★…R3年度主要事業）	<ul style="list-style-type: none"> ★地球温暖化対策事業 ★木造住宅耐震改修等助成事業 ★防災体制整備事業 ★下水道管渠施設点検調査事業 ★内水・ため池ハザードマップ作成事業 等 		

1 基本目標 2：家族の輪が広がるまち

2
3

(1) 目標の全体像

目指す状態	<p>○保育や教育など次世代を育む体制についても、人口などの将来展望に立って良好なサービス水準が維持され、世代や境遇による格差が生じないまちを目指します。</p> <p>○地域を支える協働・協学・協育に幅広く町民が取り組む、持続可能な「教育のまち・早島」を目指します。</p> <p>○子どもの《生きる権利》《育つ権利》《守られる権利》に加えて《参加する権利》が十分に保証され、住民の中からまちづくりの担い手が育つまちを目指します。</p>
達成にかかる指標と目標値	○合計特殊出生率が計画期間の各年において1.8以上を維持 (令和元年度 1.69)
主要なターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に居住する子育て世帯 ・町内に居住する、希望の子どもの数に満たないが出産を躊躇している世帯
主要な取り組みの方向	<p>21 子育て支援の充実</p> <p>各種保育サービスを柔軟に展開、ニーズに即した支援の体制づくり 保育園、幼稚園の手続きの窓口一本化、施策の一元化</p>
	<p>22 児童育成と健康の維持</p> <p>保護者が安心して子育てができる切れ目のない支援 子どもの《生きる権利》《育つ権利》《守られる権利》《参加する権利》の擁護 学校教育ビジョンをもとにした学校や青少年関係団体との連携</p>
	<p>23 学校教育の体制強化</p> <p>一貫教育の推進 ICT機器の導入促進や少人数学級など教育環境の充実 コミュニティスクールへの取り組みの充実</p>
	<p>24 まちづくりの担い手の育成</p> <p>中高生が地域活動に参加する場と機会の増大 ESDによる人材の教育・育成</p>
関連するキーワード	切れ目のない支援、ワーク・ライフ・バランス、一貫教育、はやしま学、担い手の育成

1 (2) 重点的に事業への展開を図る施策

2 ① 子育てを支える体制の拡充（総合計画 前期基本計画施策351）

3 今後の人口動態を見極めながら、増加が見込まれる保育需要に対応するため、第2期すく
4 すく早島 子ども・子育て応援プランの一部見直しに取り組むとともに、保育士の処遇改善
5 や離職防止対策による保育士の確保に努め、待機児童の解消を目指します。

6 平成29(2017)年4月からはじまった病児保育施設の広域利用や、学童保育の利用児童数の
7 増加に対応するため、児童の受け入れ体制を整備するとともに、保育環境の充実のため職
8 員への研修の実施により専門性を高めるなど、放課後や土日の子ども達の居場所づくりに
9 努め、就労する保護者支援に取り組みます。

10 ② ワーク・ライフ・バランスの推進（総合計画 前期基本計画施策353）

11 育児・介護休業制度の周知・啓発を行い、性別にかかわらず制度の利用を促進します。
12 また、働く保護者が仕事と家庭生活を両立できるよう、子育てコンシェルジュや母子保健
13 コーディネーターにより妊娠期から子育て期における切れ目ない支援を行うと共に、地域
14 の子育て支援事業等の情報提供や利用促進を図ります。

15 ③ 子育てのための経済的支援（総合計画 前期基本計画施策352）

16 児童手当制度や小児医療費の助成等について周知徹底を図ります。

17 また、障がい児を対象とした特別児童扶養手当・障害児福祉手当や心身障がい者医療の
18 助成等の周知徹底、ひとり親家庭については窓口において該当者に児童扶養手当やひとり
19 親家庭医療費の制度の説明や申請案内を実施します。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	保育所入所待機児童数(人)	(R2) 13	(R8) 0
	留守家庭児童会入会待機児童数(人)	(R2) 0	(R8) 0
	ふれあいサポートセンター年間登録 者数(人)	(R2) 51	(R8) 60
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★保育所運営事業 ★ひとり親家庭等医療給付事業 ★小児医療費給付事業 ★児童館運営事業 ★児童手当支給事業 等		

20 ④ 母子の健康づくりの推進（総合計画 前期基本計画施策361）

21 保護者への相談や指導を実施すると共に、妊娠期・出産期・新生児期及び乳幼児期を通
22 して母子の健康が確保されるよう、母子保健事業を充実し、食育の推進や、歯と口腔の健
23 康づくりなど、子育て家庭が健やかに過ごせる環境づくりを進めます。

24 また、乳幼児健康診査等の実施により、疾病や成長過程など健康状態を把握し、疾病や
25 障がいの早期発見・治療につなげると共に、発達段階に応じた子育ての正しい知識・情報
26 の普及啓発を図ります。
27

⑤ 地域の子育て支援の推進と体制整備（総合計画 前期基本計画施策362）

利用者支援事業をはじめとする相談窓口を充実させます。ふれあいサポートセンターの
 お願い会員・おまかせ会員を募集し、登録者数を増やすことで支援体制の充実を図ります。
 また、児童虐待の実態把握・防止に向け、子ども支援の専門性を高め、保健・福祉・医
 療等の関係機関と連携しながら母子を支えるための子ども家庭総合支援拠点の設置につい
 て検討します。

⑥ 生活を支える地域活動の充実（総合計画 前期基本計画施策461）

民生児童委員、愛育・栄養委員など行政と連携したボランティア活動の推進を図ります。
 公益的な事業に取り組む団体の活動基盤強化に向けての支援や、専門性の高い公益的な
 活動に取り組むNPOやボランティア団体などの活動強化に向けて支援すると共に、住民
 へ活動情報を提供するなど、住民と連携しやすい環境整備に努めます。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	乳幼児健診(乳児健診)の受診率(%)	(R2) 75.0	(R8) 85.0
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★母子保健事業 ★愛育・栄養委員会活動支援事業 等		

⑦ ESD とキャリア教育の充実（総合計画 前期基本計画施策412） SDGs 17の目標を踏

まえたESDの視点とキャリア教育の基礎的・汎用的能力、新学習指導要領の評価の3観
 点を関連づけ、課題発見・課題解決学習の充実を図ります。

⑧ 一貫教育の推進（総合計画 前期基本計画施策411）

義務教育9年間を見通し、身に付けさせたい力を明確にした系統的なカリキュラムの構築
 に向けて、学校教育ビジョン推進委員会と各部会の取り組みを充実します。また、小学校
 高学年での教科担任制や、小中合同の教科会の開催等により専門性を生かした授業改善を
 進めます。幼稚園・保育園との連携を強化し、~~新しい学校制度の研究を進めると共に、保~~
~~幼小中で一貫の教育を推進するために、~~保護者や地域の方、~~専門家など様々な立場から多~~
~~角的に協議を行い、早島町に最も適した学校制度を選択していきます~~~~などの関係者と協議~~
~~の場を設け、保幼小中で一貫教育を推進します。~~また、幼稚園では給食提供や預かり保育
 を実施し、魅力ある園づくりに努めます。

⑨ 教育環境の充実（総合計画 前期基本計画施策413）

GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末等のICT機器を教員が日常的に活用
 できるよう教職員研修の充実に取り組み、豊かな授業を展開します。

また、児童生徒の安全を確保するために必要な工事を学校施設において計画的に進めると
 共に、将来的な児童生徒数の見通しに立った教室の確保を検討します。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	全国学力・学習状況調査の平均正答 率全国比：小6(%)	(R1) 国語+5.8 算数▲0.2	(R8) 国語+5 算数+5
	全国学力・学習状況調査の平均正答 率全国比：中3(%)	(R1) 国語+1.6 数学+1.4	(R8) 国語+5 数学+5
	I C T機器を活用した授業への肯定 的評価：小中の平均(%)	(R2) 89.2	(R8) 95
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★一貫教育事業 ★学習サポート事業 ★語学向上教育事業 ★不登校対策事業 ★1年生グッドスタート事業 ★GIGA スクールサポーター配置事業 等		

1

2

⑩ 青少年の健全育成（総合計画 前期基本計画施策363）

3

青少年関係団体や自治会などと連携し、青少年と地域の人々との協働、交流の場を設けると共に指導者の養成に努めます。また、子どもたちが訪れたい・訪れやすい図書館とするため、キッズコーナーやティーンズコーナーの整備や資料の充実などを進めます。

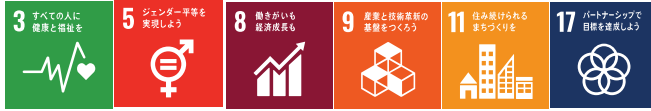
4

5

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	《はやしま学》「まなびの舎」講師 新規認定者数(人)	(R2) 6	(R8) 10
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★はやしま学推進事業 等		

6

1 基本目標3：働き続けられるまち



2

3 (1) 目標の全体像

<p>目指す状態</p>	<p><u>○保育や教育など次世代を育む体制についても、人口などの将来展望に立って良好なサービス水準が維持され、世代や境遇による格差が生じないまちを目指します。</u></p> <p>○ワーク・ライフ・バランスや職住近接、テレワークなどに配慮しサポートする企業が進出し、ニューノーマルが当たり前のこととして理解される働きやすいまちを目指します。</p> <p>○暮らしを支える公共交通が充実し、日用品はもとより独自の逸品を供する《名店》が幾つもある、行き交う人で賑わいの絶えない活発なまちを目指します。</p>
<p>達成にかかる指標と目標値</p>	<p>○女性が働きやすい状況にあると思う人の割合が前回調査より増加 (平成28年度 28.0% 令和3年度に再度調査予定)</p>
<p>主要なターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが負担で就業していない・離職を考えている女性 ・子育てが一段落し再就職を希望している女性 ・保育生活利便にかかるサービスを希望している世帯 ・地域に密着し、多様で柔軟な雇用を求めている事業者 ・町内での創業や新たな事業展開を検討している事業者 ・早島町の地域資源やソーシャルビジネスに関心のある若者
<p>主要な取り組みの方向</p>	<p><u>31 子育て支援の充実【再掲】</u> <u>各種保育サービスを柔軟に展開、ニーズに即した支援の体制づくり</u></p> <p>32 雇用環境の向上 町内企業の求人情報の充実を図ると共に、町外の企業の求人を提供する場を設ける 町内へ新たに進出する企業に対し、雇用の確保に向けた働きかけを行う</p> <p>33 飲食・小売業の活性化 商工会と連携し商業環境の高度化と新規商店の起業をハード・ソフト両面で支援 町内の回遊ルートの形成、集客イベントの開催支援、まち歩きや観光などの情報を発信</p> <p>34 地域資源の保全・活用 地域資源について学ぶ機会の増大 住民の参画を得た町筋や駅筋の街並みの景観形成 同じ歴史や文化を共有する地域との連携、情報発信</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">目標1へ</div>
<p>関連するキーワード</p>	<p>ワーク・ライフ・バランス、商店街、観光、創業支援、ソーシャルビジネス、地域資源</p>

4

1 (2) 重点的に事業への展開を図る施策

2 ① 子育てを支える体制の拡充【再掲】（総合計画 前期基本計画施策351）

3 今後の人口動態を見極めながら、増加が見込まれる保育需要に対応するため、第2期すく
 4 すく早島 子ども・子育て応援プランの一部見直しに取り組むとともに、保育士の処遇改善
 5 や離職防止対策による保育士の確保に努め、待機児童の解消を目指します。

6 平成29(2017)年4月からはじまった病児保育施設の広域利用や、学童保育の利用児童数の
 7 増加に対応するため、児童の受け入れ体制を整備するとともに、保育環境の充実のため職
 8 員への研修の実施により専門性を高めるなど、放課後や土日の子ども達の居場所づくりに
 9 努め、就労する保護者支援に取り組みます。

10 ② ワーク・ライフ・バランスの推進【再掲】（総合計画 前期基本計画施策353）

11 育児・介護休業制度の周知・啓発を行い、性別にかかわらず制度の利用を促進します。
 12 また、働く保護者が仕事と家庭生活を両立できるよう、子育てコンシェルジュや母子保健
 13 コーディネーターにより妊娠期から子育て期における切れ目ない支援を行うと共に、地域
 14 の子育て支援事業等の情報提供や利用促進を図ります。

15 ③ 若者等の雇用の確保（総合計画 前期基本計画施策241）

16 町内並びに岡山県総合流通センター内に立地する企業などへの就職希望者を対象に、無
 17 料職業紹介所への来所相談やインターネットの活用により、職業相談・紹介・求人情報の
 18 提供を行います。

19 また、近隣市町と連携した企業の合同説明会や就職相談会を開催します。

20 ④ 立地誘導の推進と町内雇用の確保（総合計画 前期基本計画施策242）

21 立地誘導等による産業の活性化を促すと共に、立地企業に無料職業紹介所を利用して
 22 らうなど、町内企業への就職を希望する方が就職しやすいような取り組みを進めていきま
 23 す。

24 ⑤ 地域と調和した操業環境の整備（総合計画 前期基本計画施策232）

25 新たな幹線道路を整備し、通過交通を分散化することで企業進出により発生する周辺道
 26 路の渋滞対策を図るなど、地域の住環境に配慮した操業環境の整備を進めます。

	<u>育児休暇取得後の職場復帰率（％）</u>	<u>※今後調査</u>	<u>※実績により設定</u>
進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	企業立地雇用促進交付金を活用した 町民の新規雇用数(人)	(H29-R2) 7	(R4-R8) 8
	無料職業紹介所の活用件数(人)	(R2) 5	(R8) 10
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	無料職業紹介事業 企業立地雇用促進交付金交付事業 ★道路新設改良事業（再掲） 等		

27 ※育児休暇取得後の職場復帰率については、令和3年度の数値を把握し、その数値に基
 28 づき目標値を定めることとします。

⑥ 創業の推進（総合計画 前期基本計画施策243）

関係団体と連携した適時適切な情報提供を行うと共に、本町の既成市街地で起業する人にとって効果的な環境や制度づくりと新規創業者の抱える課題に応じた支援を行います。
また、県や近隣の市と連携してセミナーなどを開催し、まちの資源を活用して地域課題を自立的かつ持続的に解決するソーシャルビジネスを活性化します。

⑦ 小売商業の振興（総合計画 前期基本計画施策221）

つくば商工会と連携して既存商店の振興を図ると共に、新規事業者の開業支援に取り組みます。
また、空き店舗などの活用や業種転換の取り組みに対する支援とあわせ、感染症対策のための「新しい生活様式」に対応する事業者の事業継続を支援します。

⑧ 歩いて暮らせる魅力ある商店街の形成（総合計画 前期基本計画施策222）

早島町全域を歩いて暮らせる魅力あるまちとするため、町内の飲食店や小売店の新規開業に対して支援を行います。また、《まち歩き》の拠点や目的地となる、特色ある飲食店や小売店等の情報を発信します。

⑨ イベントによる観光交流の拡大（総合計画 前期基本計画施策224）

まちの活力とにぎわいを高めるため、町内外からの参加を目的に行われる「さくらまつり」、「花ごぞまつり」、「備中はやしま夏まつり」などの町民主導イベントに対し、総合的な支援を行います。

進捗にかかる指標（KPI）と目標値	《ALKARE 早島》協賛店舗の数(件)	(R2) 14	(R8) 50
	《ALKARE 早島》スタンプ参加者(人)	(R2.3~ R3.7) 47	(R8) 125
具体的な事業（★…R3年度主要事業）	★地場産業等振興事業 ★歩いて暮らせる魅力あるまちづくり事業（再掲） 等		

~~⑨ 文化・芸術活動の振興（総合計画 前期基本計画施策431）~~

目標1へ

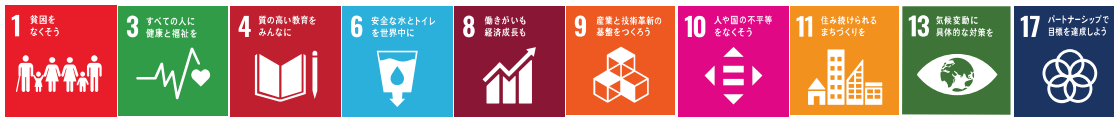
~~町民活躍の場、隣接地域の交流の場としての視点を取り入れ、民間の方とアイデアを取り入れた「まちあるきシネマ」のような新たな事業を誘致したり、ピアノリレー・コンサート等芸術文化イベントに住民参加型の企画・運営を導入したりすることで優れた文化・芸術に触れる機会を提供すると共に、県内の若手芸術家の育成など独自の事業等を行うことで、町民や近隣の団体等と共にゆるびの舎の独自の魅力を発信していきます。~~

~~⑨ 地域資源を学ぶ環境の充実（総合計画 前期基本計画施策441）~~

目標1へ

~~《はやしま学》の中で町の歴史や自然などを学ぶロゲイニングや自然観察会等を開催すると共に、町の歴史を学ぶ副読本を中学生に配付し、郷土への愛着を深め、地域への誇りを育てます。戸川家記念館の新規展示コーナーや案内板や解説板などを整備するなど、学ぶ環境を整えると共に、ホームページなどを通じ、町の魅力を発信します。同時に、高梁川流域や同じ歴史を共有する岡山市西部地域と連携し、地域の魅力を発信します。
また、地域資源を線で結ぶ「不老のみち」の積極的活用を図ります。~~

1 基本目標4：安心して暮らせるまち



2
3

(1) 目標の全体像

<p>目指す状態</p>	<p>○《保健・医療・福祉》の資源を確保する、いのちを守る構えと備えのあるまちを目指します。</p> <p>○健康づくりのための意識づくり・環境づくりが進み、いつまでも生きがいを持ってはつらつと暮らすために誰もが協力しあえるまちを目指します。</p> <p><u>○暮らしにうるおいを与える豊かな水と緑が、地球環境を保全し災害時に身を守ることの重要性についても日々気づきを与えてくれるまちを目指します。</u></p> <p>○まちづくりの人材が世代を超えて現れるまちを目指します。</p> <p>○生きがいある暮らしを支える社会教育の現場で、多くの町民が《はやしま学》の学び合いに参加するまちを目指します。</p>
<p>達成にかかる指標と目標値</p>	<p>○65歳以上の転出数が計画期間の各年において継続的に減少 (R2年度 15人)</p>
<p>主要なターゲット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の持ち家に居住する高齢者世帯 ・ 早島町で生まれ育つ若者 ・ 町内の施設をよく利用する人 ・ 町内を活動の場としているNPO等
<p>主要な取り組みの方向</p>	<p>41 地域の保健・医療・福祉の推進 がんや心疾患、脳血管疾患、糖尿病など一次予防の強化 地域の保健・医療・福祉を支える基盤づくり 住民の健康データを用いた介護予防・フレイル対策</p> <p>42 高齢者福祉の充実 地域全体の支援体制による自立支援と健康寿命の増進 地域包括ケアの体制づくり</p> <p>43 <u>災害の備えの充実</u> <u>「減災」の考え方を取り入れた防災体制、平時における災害への意識と備え、有事における情報の正確・迅速な周知の仕組みづくり</u></p> <p>44 良好な定住環境の形成 快適な居住環境の形成に向けた計画的なまちづくり</p> <p>45 社会教育の環境整備 コミュニティ活性化につながる学習プログラムの提供 学校と連携した《はやしま学》の実践 学習活動の拠点となる社会教育施設の連携と機能充実</p>
<p>関連するキーワード</p>	<p>アクティブシニア、健康寿命、自治体DX、<u>防災</u> 人材育成、世代の循環、社会教育施設</p>

1 (2) 重点的に事業への展開を図る施策

2 ① 地域福祉の連携強化（総合計画 前期基本計画施策313）

3 地域包括支援センターや早島町社会福祉協議会、ボランティア団体、NPOなど多様な
4 主体が連携・協力した自治会を中心とする地域福祉活動を展開します。

5 また、医療専門職を核とした関係機関と連携し、地域課題の分析、事業の企画調整及び
6 地域の通いの場などへ積極的に関与できる体制を整えます。

7 ② データヘルスの推進（総合計画 前期基本計画施策314）

8 KDBシステム等の介護・保健・健診データを用いて地域の高齢者の特性や健康課題を
9 把握し、保健事業と介護保険の地域支援事業等を一体的に実施します。

10 また、健診データとレセプトデータの突合により、適切な生活習慣の改善指導など疾病
11 の早期発見や重症化予防を推進します。

12 ③ 高齢者が活躍できる環境づくり（総合計画 前期基本計画施策321）

13 シルバー人材センターの組織強化と、自立に向けた支援を行います。また、有償ボラン
14 ティア団体を育成し、活動の場を提供します。

15 老人クラブ連合会と連携し、まなびの舎などの講師や指導員への参加を促すことで、社会
16 教育のさらなる充実に取り組みます。

17 高齢者の社会参加の促進や経済的な負担の軽減が図れるよう、移動支援に努めます。

18 ④ 高齢者の地域生活支援の推進（総合計画 前期基本計画施策323）

19 地域包括支援センターの活動とあわせ、地域における自主的な取り組みへの支援や、介
20 護にあたる家族が安心して相談できる体制の強化により、要介護者となっても住み慣れた
21 地域で生活が続けることができる地域包括ケアシステムの構築を進めます。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	健康寿命：男性(歳)	(H28) 79.14	(R8) 79.5
	健康寿命：女性(歳)	(H28) 85.08	(R8) 85.5
	百歳体操登録者数(人)	(R2) 404	(R8) 415
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★早島町シルバー人材センター助成事業 ★高齢者交通費助成事業 ★早島町社会福祉協議会支援事業 ★高齢者等住宅改造助成事業 ★国民健康保険ヘルスアップ事業 等		

22
23 ⑤ 浸水被害防止対策の推進（総合計画 前期基本計画施策133）

24 大雨による浸水対策として、弁才天排水機場や汐入川排水機場の長寿命化をはじめとす
25 る事業計画の策定や、児島湖周辺自治体との緊密な連携を進めます。また、水路の改修や
26 浚渫により保水機能を向上すると共に、定期的な維持管理に取り組みます。

1 集中豪雨時に浸水が想定される区域の内水ハザードマップを作成し、浸水する深さや避
 2 難方法などの情報を住民に提供するなど、内水はん濫による浸水被害を最小限にとどめる
 3 よう努めます。

4 **⑥ 住宅等耐震化の推進（総合計画 前期基本計画施策126）**

目標1から

5 耐震診断及び木造住宅の耐震改修にともなう所有者等の負担の軽減が図れるよう、耐震
 6 費用の一部を補助します。

7 **⑦ 重層的な住宅セーフティネットの形成（総合計画 前期基本計画施策215）**

目標1から

8 新たな住宅セーフティネット制度の周知を進めると共に、町営住宅長寿命化計画を改定
 9 し、予防保全的な管理とライフサイクルコストの縮減に努めます。

10 **⑧ 上下水道区域の見直し（総合計画 前期基本計画施策132）**

目標1から

11 老朽化等により課題のある上水道施設を廃止し、配水区域を変更することで集中的な対
 12 策を進めます。また、下水道事業については、現在2系統ある汚水処理施設への放流先を集
 13 約することで効率的な事業運営を行っていきます。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	住宅の耐震化率(%)	(R2) 90.7	(R8) 95.0
	上水道管路の耐震化率(%)	(R2) 34.5	(R8) 43.5
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★木造住宅耐震改修等助成事業 ★町営住宅運営事業 ★町営住宅長寿命化計画策定事業 ★防災体制整備事業 ★下水道管渠施設点検調査事業 ★内水・ため池ハザードマップ作成事業 等		

14 **⑨ 生活環境の保全（総合計画 前期基本計画施策255）**

15 地域の自主的な美化活動への支援や野焼きによる煙害の防止など、生活環境の保全と衛
 16 生の向上に努めます。

17 **⑩ 日常生活に必要な施設へのアクセス向上（総合計画 前期基本計画施策143）**

18 既成市街地や駅、役場周辺などの都市機能が集約したエリアを、公共交通機関の連携と
 19 バリアフリー化の促進により移動しやすい空間とします。また、町内の拠点間と日常生活
 20 に必要となるスーパーや病院へのアクセスを改善し、移動ニーズに即したより使いやすい
 21 コミュニティバスとしての運行継続を図ります。

進捗にかかる指標 (KPI)と目標値	コミュニティバス年間延利用者数 (人) (再掲)	(R2) 47,755	(R8) 50,000
具体的な事業 (★…R3年度主要事業)	★コミュニティバス運行事業 (再掲) 等		

3) その他修正箇所について

基本計画素案

修正箇所

【施策の方針】

早島町地域防災計画に基づき「減災」の考え方を取り入れた防災体制を整えると共に、平時における災害への意識と備え、有事における情報の正確・迅速な周知の仕組みづくりにより町民・地域・行政が一体となった地域防災力の向上に取り組みます。

また、現行の耐震基準を満たさない住宅や建築物の所有者・住民に対し、耐震化などの対策の必要性や重要性の啓発を行い、耐震化率の向上を図ります。

【個別施策における取り組み】

121 災害時の情報伝達体制の整備（総務課）

防災行政無線や町会~~会~~のスマートフォンアプリ（はやしまナビ・コスモキャスト）など、伝達手段の多重化・多様化に努め、災害時の情報伝達体制の整備を推進します。

122 地域防災力の向上（総務課）

特に自主防災組織や小中学生を重点的な対象として、的確な目標や被害の想定に基づく防災訓練や研修・啓発を行います。

また、各地区へ防災資機材の整備を図ることで災害発生時の初動体制の強化に努めます。

123 消防組織・体制の体制強化（総務課）

消防団装備の充実や訓練内容の充実を図り、機庫や消防水利など老朽化した消防施設を改修します。また、消防団組織の維持を図るため、団員確保の取り組みを進めます。

124 防災対策の推進（総務課）

常に現場からの情報を反映し、生きた地域防災計画とします。また、災害時における食料、飲料水、生活必需品の供給など民間企業と協定締結を進めます。

125 業務継続計画に基づく体制の整備（総務課・まちづくり企画課）

大規模災害時においてもいち早くネットワークやシステムを復旧させるため、業務継続計画³に沿った体制・環境の整備を進めます。

126 住宅等耐震化の推進（建設農林課）

耐震診断及び木造住宅の耐震改修にともなう所有者等の負担の軽減が図れるよう、耐震費用の一部を補助します。

【関係する課題別計画】

- 早島町地域防災計画
- 早島町耐震改修促進計画
- 業務継続計画
- 早島町国民保護計画

【所管部署】

主務課	関係課
総務課	建設農林課

³ 業務継続計画：大規模な災害の発生など、ヒト・モノ・情報などの利用が制限される状況で、応急対策や優先度の高い通常業務を特定し、必要な資源の確保・配分や実際の手続き、指揮系統をあらかじめ定めた計画のことです。

【施策の方針】

水道水の供給需要の変動を見込んだ長期事業計画を基に、基幹管路の耐震化と合わせた老朽管の更新事業を計画的に進めます。また、町内に残る未水洗化世帯への啓発を引き続き行い、生活環境の保全と共に公共用水域における水質を保全します。

さらに、各種施設の適正な維持管理により、長寿命化⁵と管理コストの縮減を図ります。

【個別施策における取り組み】

131 安全安心な水の安定供給の確保（上下水道課）

町内全域に安全安心な水の安定供給を実現するため、早島町上水道基本計画を基に、災害時の給水拠点として必要な応急給水施設を含めた整備・更新を着実に進めます。また、地震等の災害時に備え、管路等の更新にあわせた耐震化を進めます。

132 上下水道区域の見直し（上下水道課）

老朽化等により課題のある上水道施設を廃止し、配水区域を変更することで集中的な対策を進めます。また、下水道事業については、現在 2 系統ある汚水処理施設への放流先を集約することで効率的な事業運営を行っていきます。

133 浸水被害防止対策の推進（建設農林課・上下水道課）

大雨による浸水対策として、弁才天排水機場や汐入川排水機場の長寿命化をはじめとする事業計画の策定や、児島湖周辺自治体との緊密な連携を進めます。また、水路の改修や浚渫により保水機能を向上すると共に、定期的な維持管理に取り組みます。

集中豪雨時に浸水が想定される区域の内水ハザードマップを作成し、浸水する深さや避難方法などの情報を住民に提供するなど、内水はん濫による浸水被害を最小限にとどめるよう努めます。

【関係する課題別計画】

- 早島町都市計画マスタープラン
- 早島町上水道基本計画
- 早島町水質検査計画
- 早島町下水道事業経営戦略
- 下水道ストックマネジメント計画

【所管部署】

主務課	関係課
上下水道課	建設農林課

⁵ 長寿命化：寿命がのびる、は寿命をのばすこと。公共施設においては、建設後の活用期間中に適切な維持管理やグレードアップ改善を実施することで、設計時点で想定した年数よりも長く活用できるようにすることをいいます。

【施策の方針】

駅に隣接又は近接した地区で、計画的な宅地形成と都市機能の誘導を図ります。

その他のポテンシャルのある地域においては、住環境に配慮しつつ立地特性をいかした土地利用への転換を図ります。

また、高齢化して暮らしぶりが変わっても住み続けられるよう、日常生活に必要な機能が集約した地区への公共交通によるアクセスを確保します。

【個別施策における取り組み】

14.1 新たな定住空間の形成（建設農林課・整備計画室）

駅の拠点性を高め、駅に隣接又は近接した地区の市街地編入を行い、良好な住宅地の誘導を図ります。

14.2 住環境に配慮した業務地の形成（建設農林課）

早島インターチェンジ周辺の広域交通の利便性を活かし、民間の活力を牽引する良好な業務地への計画的な転換を図ると共に、集落の拠点に近接するエリアでは、緩衝帯となる緑地の創出や保全を推進し、住工分離による住環境への配慮に努めます。

14.3 日常生活に必要な施設へのアクセス向上（まちづくり企画課）

既成市街地や駅、役場周辺などの都市機能が集約したエリアを、公共交通機関の連携とバリアフリー化の促進により移動しやすい空間とします。また、町内の拠点間と日常生活に必要なスーパーや病院へのアクセスを改善し、移動ニーズに即したより使いやすいコミュニティバスとしての運行継続を図ります。[また、コミュニティバスを含めた生活交通⁸のあり方について検討します。](#)

【関係する課題別計画】

早島町都市計画マスタープラン

早島町都市構造再編計画

金田・下野地区土地利用計画

【所管部署】

主務課	関係課
建設農林課	まちづくり企画課、整備計画室

⁸ 生活交通：法令などで定義はされてはませんが、一般的に、「地域における通勤、通学、通院、買物などの私たちの日常生活に不可欠な身近な公共交通」とされています。

【施策の方針】

既存施設の改善や機能強化を念頭におきながら、共通して求められる安全性などに加え、広域的な集客や住民の生活に密着した利便性など施設ごとに備えるべき機能を整理し、利用者の満足度の向上を目指します。

【個別施策における取り組み】

151 都市公園の利用増進（建設農林課）

都市公園については、子どもから高齢者まで地域住民の幅広い意見を踏まえ、目的や機能を特化・充実させることにより「四季を通じて楽しめる憩いの場」、「町民共有の地域活動の場」となるよう利用の促進を図ります。

また、緊急時の避難場所として利用できるよう、求められる機能の整備を図ります。

152 都市公園の適切な管理（建設農林課）

都市公園については、PFI手法⁹や指定管理者制度等のPPP¹⁰（公民・官民連携）手法を実施可能な公園へ導入し、民間活力を活かして利用の促進を図ります。

153 緑地の保全と緑化の推進（建設農林課）

緑地の計画的な保全とあわせ、身近に自然を感じ景観上の潤いとなる貴重な緑を確保するため、公園や広場の植栽による総合的な緑化を推進します。

【関係する課題別計画】

- 早島町都市計画マスタープラン
- 早島町公園施設長寿命化計画
- 早島町景観計画

【所管部署】


主務課	関係課
建設農林課	

⁹ PFI：Private Finance Initiativeの略で、公共施設等の設計・建設・維持管理および運営に民間の資金やノウハウを活用することにより、公共サービスの提供を行う事業手法のことです。

¹⁰ PPP：Public Private Partnershipの略で、公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、「官民連携」とも呼ばれ、民間資本や民間のノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指すものです。

21 良好な定住環境の形成

【施策の体系】

21 良好な定住環境の形成 	211 良質な居住環境の保全
	212 計画的な土地利用の推進
	213 関係人口の創出と移住定住の促進
	214 空き家の利活用と管理
	215 重層的な住宅セーフティネットの形成

【現状と課題】

現在の本町の市街化区域は開発の余地が少ないため、早島駅周辺をはじめとした市街化調整区域に目が向けられており、50戸連たん制度による住宅開発等が増加しています。今後は市街化調整区域での開発行為が行われることでインフラ整備が必要となり、財政面での圧迫等が懸念されます。限られた町域を上手く活用するためには、計画的な土地利用が必要となります。

現在は人口が増加傾向にありますが、今後予測される人口減少や高齢化により、空き家が増加し、将来的に地域の活力の低下やコミュニティの維持が困難になると予想されることから、空き家対策を進めていく必要があります。

また、従来は低所得世帯を中心とする住宅困窮者を対象としてきた町営住宅ですが、災害発生時や新型コロナウイルスの感染症拡大による一時使用など、幅広い居住のセーフティネットとして役割が拡大しつつあります。

【施策目標】

- ・良好な居住環境が整い、町民の定住や町外からの移住が進んでいます。
- ・まちなか居住が進んでいます。
- ・早島町に関心を抱き、情報を集めたり発信したりする関係人口¹⁵が増えています。

【数値指標】


指標の名称(単位)【基準値(年度)】	望ましい変化
<input type="checkbox"/> 市街化区域内の人口割合密度(%)【77.5(R2)】	増加
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄付件数(件)【332(R1)】	増加
<input type="checkbox"/> 社会増減数(人)【39(R1)】	増加
<input type="checkbox"/> 町ホームページの定住・移住関係ページの閲覧数【3,230(R2)】	増加
<input type="checkbox"/> 空き家バンクへの物件登録数(件)【0(R2)】	増加
<input type="checkbox"/> 特定空家の件数 ¹⁶ (件)【10(R2)】	減少

¹⁵ 関係人口：定住人口でもなく、観光などで訪れる交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。訪れたことはなくても地域に関心を抱いていた、関心はなくても仕事などで実際に訪れている人々を含みます。

¹⁶ 特定空家：適切な管理がされていない空家で、地域の防災・衛生・景観などへの影響から放置することが不適切であると認められる空家のこと。市町村が定める空家等対策計画で指定することができます。

22 飲食・小売業の活性化

【施策の体系】

22 飲食・小売業の活性化 	221 小売商業の振興
	222 歩いて暮らせる魅力ある商店街の形成
	223 地域資源の観光活用と観光開発
	224 イベントによる観光交流の拡大

【現状と課題】

本町は、江戸時代の干拓や畳表のまちとして繁栄した歴史を、町中央部の町筋のまちなみや田園風景として残しています。それらを活用し、いかしの舎や観光センターを拠点とした《まち歩き》を中心に町の魅力を発信しています。

一方で、町中心部の既存の商店は空き店舗が目立ち、町北部の団地エリアには商店立地が少ないことから、町民の多くは町外の大規模商業施設まで買い物に出かけています。町内には食事や買い物ができる場が減ってきており、《まち歩き》を中心とした町の魅力を発信するうえでも、特色ある飲食店や小売店を増やしていくことが必要です。

また、新型コロナウイルス感染症対策により経済活動は大きく落ち込み、アフターコロナ時代の新しい生活様式への対応が求められていることから、アフターコロナを見越した事業の継続支援や営業基盤の強化が必要となります。

【施策目標】




- ・身近で買物を済ませられる商店が町内に増えています。
- ・観光ボランティアガイドの利用が増えています。
- ・町内で開催されるイベントで多くの人が交流しています。

【数値指標】

指標の名称(単位)【基準値(年度)】	望ましい変化
<input type="checkbox"/> つくば商工会会員数【183 (R2)】	増加
<input type="checkbox"/> 《ALKARE早島》協賛店舗の数(件)【14(R2)】	増加
<input type="checkbox"/> 《ALKARE早島》スタンプ参加者(人)【47(R2.3~R3.7)】	増加
<input type="checkbox"/> 観光ボランティアガイドが活用された延べ回数(回)【10(R1)】	増加
<input type="checkbox"/> 観光ボランティアガイドを利用した人の数(人)【1,038(R1)】	増加
<input type="checkbox"/> 早島町中小企業応援事業補助金が活用された延べ件数(件)【4(R1)】	増加

23 立地を活かした新たな産業の展開

【施策の体系】

23 立地を活かした新たな産業の展開   	231 新たな産業拠点の形成
	232 地域と調和した操業環境の整備
	233 流通業務団地の機能強化

【現状と課題】

岡山県総合流通センターをはじめとして、本町の北部丘陵地に流通関連施設が集約立地していますが、中四国の広域交通の結節点という本町の恵まれた立地条件から、早島インターチェンジ周辺の市街化調整区域には、地区計画制度等を利用して流通関連企業が進出しており、新たな産業拠点が形成されてきています。

一方で、物流企業等の立地が進み、国道 2 号へアクセスする周辺道路での渋滞も散見されることから、立地の優位性を最大限に活かすためにも周辺道路の渋滞対策等のインフラ整備が求められます。

今後も、周辺環境への影響に配慮した土地利用の誘導により、恵まれた立地条件をいかした良好な産業地区を形成し、流通関連企業のみならず多様な産業の集積を図ると共に、持続可能なまちづくりに向け、経済の活性化や雇用の創出につながる新たな産業基盤をつくりだす必要があります。

【施策目標】

- ・町内の流通関連企業数が増え、税収が向上しています。
- ・企業の進出が進み、昼間人口が増えています。

【数値指標】

指標の名称(単位)【基準値(年度)】	望ましい変化
<input type="checkbox"/> 法人町民税の税収(百万円)【220(R1)】	増加
<input type="checkbox"/> 卸売業の年間商品販売額(百万円)【132,639(H26)】	増加
<input type="checkbox"/> 企業立地雇用促進交付金を活用した町民の新規雇用数(人)【7(H29~R2)】	増加
<input type="checkbox"/> 早島町中小企業応援事業補助金の申請件数(件)【3(R2)】	基準値を維持

【施策の方針】

早島インターチェンジが持つ発展可能性を最大限発揮できる土地利用を検討し、周辺環境への影響に配慮した上で、土地利用の転換を図ります。既存流通業務団地内における各種規制について他県の流通業務団地なども参考にした再検証を行い、周辺環境への影響に配慮した上で、企業が活動しやすい操業環境の実現を目指します。

また、生産性が高く持続可能な産業の育成を支援し、本町の産業基盤の強化を図ります。

【個別施策における取り組み】

231 新たな産業拠点の形成（建設農林課）

既存の流通業務団地とあわせ流通業務系まちづくりの基盤となる新たな産業拠点の形成を図るため、早島インターチェンジ周辺において、従業員やその家族の生活環境なども含めた流通関連企業の集積を可能とする土地利用の規制・誘導方針を、周辺環境への影響に配慮した上で定めます。

232 地域と調和した操業環境の整備（建設農林課）

新たな幹線道路を整備し、通過交通を分散化することで企業進出により発生する周辺道路の渋滞対策を図るなど、地域の住環境に配慮した操業環境の整備を進めます。

233 流通業務団地の機能強化（まちづくり企画課）

既存流通業務団地に立地する企業が中四国の拠点として存続するよう、[町内事業者との情報共有の場を設けると共に](#)、岡山市及び関係団体と連携し更なる機能強化に努めます。

【関係する課題別計画】


- 早島町都市計画マスタープラン
- 金田・下野土地利用計画

【所管部署】

主務課	関係課
建設農林課	まちづくり企画課

35 子育て支援の充実

【施策の体系】

35 子育て支援の充実 	351 子育てと仕事の両立支援
	352 子育てのための経済的支援
	353 ワーク・ライフ・バランスの推進

【現状と課題】

本町には私立保育所 3 園と企業内保育所が 1 ヶ所、公立幼稚園 1 園、児童館があります。私立保育園の 1 園には子育て支援センターを設置し、児童館には留守家庭児童会とふれあいサポートセンター³⁵を併設するなど、子育て支援体制の整備に努めています。また、利用者支援事業の一環として子育てコンシェルジュおよび母子保健コーディネーターを配置し、子どもやその保護者の身近な場所で、地域の子ども・子育て支援について、子どもやその保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言を行うと共に関係機関との連絡調整等を行っています。

本町においては、近年子どもの数が増加する一方、女性の就業率が全国、岡山県に比べ高く共働き世帯も増加するなど、保育需要が増大する傾向にあります。家庭と仕事の調和（ワーク・ライフ・バランス）、特に子育てと仕事を両立できる環境を実現すると共に、地域の子育てに多くの住民がかかわり、安心して支援を受けられる体制をつくっていくことが必要です。

【施策目標】

- ・地域で母子が孤立せず、関係機関も状況を把握しています。
- ・働く親への保育支援が進んでいます。
- ・保育を希望している児童の入所待機が解消しています。
- ・ふれあいサポートセンターの登録及び利用が増えています。
- ・ワーク・ライフ・バランスについての理解が進んでいます。

【数値指標】

指標の名称(単位)【基準値(年度)】	望ましい変化
<input type="checkbox"/> 保育所入所待機児童数(人)【13(R2)】	解消
<input type="checkbox"/> 留守家庭児童会入会待機児童数(人)【0(R2)】	基準値を維持
<input type="checkbox"/> <u>育児休暇取得後の職場復帰率 (%)</u> 【今後調査】	<u>増加</u>
<input type="checkbox"/> ふれあいサポートセンター年間登録者数(人)【51(R2)】	増加
<input type="checkbox"/> ふれあいサポートセンター年間利用者数(人)【368(R1)】	増加

³⁵ ふれあいサポートセンター：子育ての援助を希望する人（おねがい会員）と子育ての援助を提供する人（おまかせ会員）が育児の相互援助活動を行うシステムです。

1 **【施策の方針】**

2 さまざまな町民のニーズを双方向で把握すると共に、行政情報が子育て世代や現役世代など
3 忙しい人たちにも届き反応が得られるよう、スマートフォンなどを活用した情報収集にも対応
4 した、利用者目線に立った公聴・広報のあり方を幅広く検討します。
5

6 **【個別施策における取り組み】**

7 521 町民の意見・提案の把握（まちづくり企画課）

8 懇談会やご意見箱、町民アンケートなどの手段に加え、ウェブサイト上からの意見投稿な
9 ども活用して町民の意見・提案・要望をしっかりと把握します。

10 522 情報公開の推進（まちづくり企画課）

11 審議会などの開催をウェブサイトで周知し、開かれた町政を推進します。

12 ~~また、~~広報誌への掲載や開示請求の手法により情報を公開し、町民との行政情報の共有を
13 図ります。また、広報紙を通じて岡山市や倉敷市などの他市町の情報を発信します。

14 523 地域コミュニケーション回路の構築（まちづくり企画課）

15 ワークショップやパブリックコメントの活用、町民の意見や提案に対してのキャッチボー
16 ルなど、町民と行政の双方向のコミュニケーションを重視しながら町民との密接な意思疎通
17 を図ります。
18

19 **【関係する課題別計画】**

20 （なし）
21

22 **【所管部署】**

主務課	関係課
まちづくり企画課	

1 **【施策の方針】**

2 住民各自のスキルに応じた I C T機器の活用推進により、誰でもいつでもどこでも必要な情
3 報を送受信できる情報バリアフリーの推進を図ると共に、デジタル・ディバイドの解消に努め
4 ます。
5

6 **【個別施策における取り組み】**

7 531 情報基盤の整備（まちづくり企画課）

8 既存の公衆無線 L A N（W i - F i）環境を活用いただけるよう周知に努めます。また、
9 今後も技術の発展や新たなサービスの情報を収集し、利便性向上の視点も含めて時代に即し
10 たサービスの提供に努めます。

11 532 デジタル・ディバイドの解消（まちづくり企画課）

12 誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう、ICT の利活用が困難な町民が相談や学習を行え
13 る機会を設けるなど、情報バリアフリーの推進に向けてデジタル・ディバイドの解消を図り
14 ます。

15 533 多様な媒体を活用した行政情報の発信（まちづくり企画課）

16 町政に関する情報について、広報紙やホームページに加え、S N S やスマートフォンアプ
17 リを活用して積極的に発信することで、若い世代などへの情報提供に努めます。

18 また、スマートフォンを活用した情報収集や問い合わせに便利な機能の追加など、利用者
19 目線に立った情報発信を行います。
20

21 **【関係する課題別計画】**

22 （なし）
23

24 **【所管部署】**

主務課	関係課
まちづくり企画課	

【施策の方針】

簡素で効率的な行政経営を目指し、限られた資源の中で町民ニーズに即した各種政策を的確に進めます。また、岡山市や倉敷市などの周辺自治体と連携を進め、民間の力も活用した幅広い視点での行政運営を行います。

さらに、各種研修を通じて政策形成能力や職務遂行能力を高め、創意工夫で町民ニーズに応えられるよう職員の資質向上に努めます。

【個別施策における取り組み】

551 弾力的な組織機構の編成（総務課）

業務の拡大や時代のニーズに合わせた組織改革を行い、柔軟かつ効率的な人員配置を行います。また、各課横断的な委員会やプロジェクトチームなどを設置し、機動性の高い組織編成を行います。

552 地方分権にふさわしい人材の育成（総務課）

行政サービスの質や効率性の向上、価値創出、課題解決に的確に対応するため、各種研修による教育訓練、職場における実務教育、積極的な業務改善提案、さらには自発的な学習を通じ、主体的に職務遂行できる高い能力、全体の奉仕者であるとの自覚のもと高い倫理観を持った人材を育成することで組織力を高めます。

あわせて、働き方、性別、障がい等の多様性に配慮した、コミュニケーションが盛んで風通しの良い職場環境づくりを進めます。

553 広域連携の推進（まちづくり企画課・総務課）

岡山市を中心とした連携中枢都市圏、倉敷市を中心とした高梁川流域連携中枢都市圏等の他市町村との連携を引き続き推進し、[住民の生活圏等を基礎とした近隣の連携中枢都市圏との圏域間連携に取り組み](#)、広域連携による効果的・効率的な行政運営を図ります。

554 民間団体との連携体制の構築（まちづくり企画課・総務課）

災害時における各種協力に関する協定の締結、大学との包括的な連携協定の締結、指定管理者制度の導入や有識者との政策懇話など人的・知的・物的資源の相互活用により、民間事業者や団体との関係強化を図ります。

【関係する課題別計画】

- 早島町特定事業主行動計画
- 早島町障がい者活躍推進計画

【所管部署】

主務課	関係課
総務課	まちづくり企画課